


ホーム | 県内ニュース・主要・各地・経済・スポーツ | 全国・海外 | フォト | ムービー | 主催事業 | イベント | お取り寄せ | 47NEWS

 山梨県内のニュース(山梨日日新聞から)／各地

2009年07月04日(土)

県産ヒノキの積み木贈る 富士河口湖高同窓会が30周年記念 町、子ども創造館で貸し出し

富士河口湖高同窓会は3日、県産ヒノキの間伐材を使用したオリジナル積み木「楽つみ木」を富士河口湖町に寄贈。この積み木を貸し出す「つみ木図書館」が同町にオープンした。

同窓会設立30周年を記念して、積み木4千ピースや専用カーペットを寄付した。つみ木図書館は同町の子ども未来創造館に開設。図書館を訪れた子どもが自由に使えるほか、富士北ろく地域の団体や企業にも貸し出す。

寄贈した楽つみ木は立方体と長方体などの3種類で、中央市の木楽舎つみ木研究所が作製。限られた種類の積み木を使うことで、「想像力を養うことができる」(木楽舎)という。

この日は子ども未来創造館で贈呈式が行われた後、木楽舎の担当者が子どもたちに楽つみ木の使い方を説明。同町の小立保育所の幼児約50人が楽つみ木を楽しんだ。

同保育所の佐藤朱菜ちゃん(5)は「みんなで一緒に遊べて楽しかった」と笑顔。同窓会実行委員長の遠山正史さんは「多くの子どもたちがつみ木図書館を利用して、想像力などを養ってほしい」と話していた。



楽つみ木で遊ぶ幼児＝富士河口湖町船津